

すみよし

第 64 号

発行所 社会福祉法人 一寿会
仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
電話 022-379-8030
発行者 理事長 関野 愉

■住吉台こども園	仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6	TEL (022) 379-0164
■仙萩苑(障害者支援施設)	仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6	TEL (022) 379-8030
■一寿園(就労継続支援B型事業)	仙台市太白区富田字南ノ西26番地	TEL (022) 243-3447
■長命ヶ丘つくしこども園	仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10	TEL (022) 772-0035
■名取みたぞのこども園	名取市美田園五丁目3番地5	TEL (022) 784-1020
■名取あけぼのこども園	名取市増田六丁目1番40号	TEL (022) 382-2711

印刷 令和5年7月5日

発行 令和5年7月7日



■名取あけぼのこども園 (p6～p7) ■一寿会 決算報告書 (p 9)

■住吉台こども園 (p2～p3)

- ・日中活動
- ・畑作り
- ・そら豆のさやむき



■長命ヶ丘つくしこども園

- ・生活発表会
- ・お店屋さんごっこ
- ・卒園式



■名取みたぞのこども園

- ・そりすべり
- ・豆まき会
- ・入園式・進級式



■名取あけぼのこども園 (p6～p7)

- ・カレー作り
- ・お別れ遠足
- ・サッカー教室



■仙萩苑

- ・日中活動
- ・新人紹介



■一寿園

- ・避難訓練





入園から約一ヶ月経ち、園の生活リズムに慣れ一日を通してにこやかに過ごすことができるようになってきました。今年度の0歳児クラスは月齢幅が広い為一人一人の生活リズムに合わせ午前寝を取り入れ落ち着いて日中過ごせるようにしています。最近では昔の鳴る玩具を「どうぞ」と言い友だちに手渡し一緒にマラカスを鳴らすことを楽しんだり、保育教諭がきらきら星を歌うとそれに合わせて木琴を叩いたりマラカスを鳴らしています。動きも少

しましたが喜んで通り「ばー」とする他の児の姿を見てほとんどの子どもがハイハイで通ることができるようになりました。階段や坂をハイハイで登り、できた際に自分で拍手をする姿が見られるようになってきています。今後も子ども一人一人の発達段階を踏まえ様々な運動遊びを取り入れ、伸び伸びと生

（保育教諭 渋谷 有美）

て大きな畑で野菜を育てていくくいうことで大喜びの子どもたち。ミニトマトの苗をじーっと観察して「葉っぱ、ギザギザしてるね」、「トマトはどこになるの？」などと興味津々で、保育教諭が畑に穴を掘り、苗を植える所は真剣に見つめていました。いんげんとひまわりはプランターに植えていきました。それぞれの種を保育教諭から手にのせてもらうと「わあ、小さいね」、「いんげんの種は豆なの?」などと発見や驚きを伝え合っていました。プランターの穴を開けた所に順番で種を植えていきました。小さな種を一つ一つ大事に持つて穴の中に入れて「最後に土のお布団をかけてあげよう」と願いながら優しく土をかけていた子どもたち。最後に「大きくなあれ」と願いを込めながらじょうろで水をかけていました。畑作りをしてから毎日畑やプランターを観察し、数日後に芽が出ると「芽が出たー！」と大喜びの子どもたち。ミニトマトの苗も大きくなつて

住吉台(ひじも)園

日中活動



しづつ増え、腹這い・ハイハイ・ずりともに合わせて楽しめるよう側に付き場面に応じて体を支え見守りできた際にはたくさん褒め自信に繋げていま

す。アスレチック遊具の活動では始めはトンネルをくぐることを怖がっていましたが喜んで通り「ばー」とする他の児の姿を見てほとんどの子どもがハイハイで通ることができるようになりました。

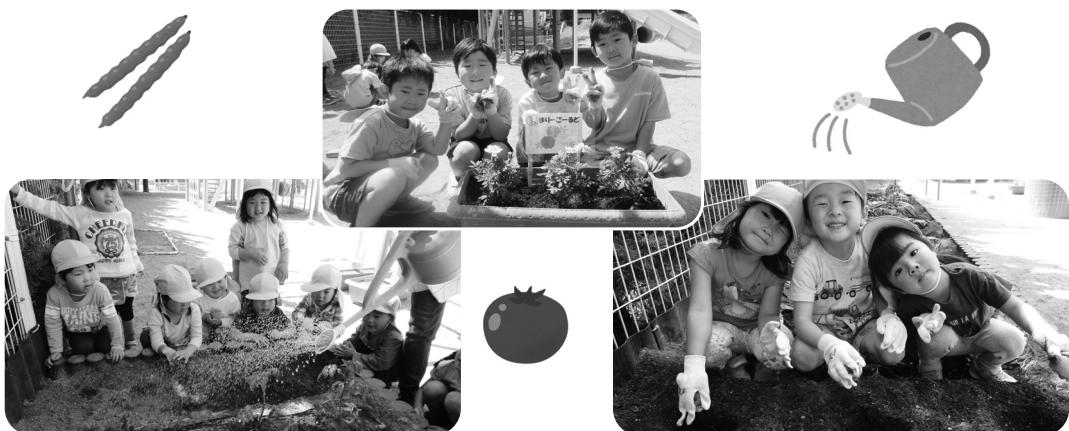
五月十二日に三歳児クラスで畑作りを行いました。今年はミニトマト、いんげん、ヒマワリの栽培に挑戦します。

三歳以上児クラスに仲間入りし、初めて大きな畑で野菜を育てていくくいうことで大喜びの子どもたち。ミニトマトの苗をじーっと観察して「葉っぱ、

いることを感じて「ミニトマト、まだかな?」と期待を持って生活をしています。子どもたちの願いが届いて大きな野菜やお花が育ちますように。
（保育教諭 烏田 とりた 佳澄）



畑作り



そら豆のさやむき



六月一日に三歳以上児対象の食育「そら豆のさやむき」を行いました。最初に保育教諭が「そらまめくんのベッド」の絵本を読みました。みんなは、集中してお話を聞いていました。次に栄養士から絵本に登場した豆の仲間の紹介をしました。子どもたちには、「豆の名前を答えてもらい」「ピーナッツの育ち方」のクイズを出しました。クイズを含め栄養士の質問にみんな積極的に答えてくれました。手をきれいに洗って、いよいよそら豆のさやむきが始まります。そら豆を一人一人に配ると「大きい～ね」「かた～い」など、そら豆の感触を感じていました。くま組は初めてのさやむきで戸惑う子もいましたが、保育教諭が側に付き「ギュッギュッとひねるんだよ～」「ここに指いれてみ

さやむきをしました。ぞう組は「回目、きりん組のみんなは三回目なので」「こだよね」「出てきたよ！」と得意気にさやむき、豆を見せてくれました。私が「そら豆のベッドはどうかな？」と質問すると「ふわふわだよ」「なんか草くさい」「三個も入ってた」などそれぞれ観察したことたくさん教えてくれました。むいてくれたそら豆は、午後のおやつに茹でたそら豆と、そら豆とチーズのフリッターにして提供しました。自分たちでむいた豆は特別でみんなで美味しく食べていました。今年も様々な食材に触れ、食に対する興味が深められるよう食育活動に取り組んでいきたいと思います。

（栄養士 鹿野 桃花）

てね」「ふわふわのベッドあった～」と会話をしながら語っていました。手が小さくて力のない子には保育教諭が優しく手を添えてあげてみんな一生懸命さやむきをしました。ぞう組は「回目、きりん組のみんなは三回目なので」「こだよね」「出てきたよ！」と得意気にさやむきをしました。ぞう組は「回目、きりん組のみんなは三回目なので」「こだよね」「出てきたよ！」と得意気にさやむきをしました。ぞう組は「回目、きりん組のみんなは三回目なので」「こだよね」「出てきたよ！」と得意気にさやむきをしました。私が「そら豆のベッドはどうかな？」と質問すると「ふわふわだよ」「なんか草くさい」「三個も入ってた」などそれぞれ観察したことたくさん教えてくれました。むいてくれたそら豆は、午後のおやつに茹でたそら豆と、そら豆とチーズのフリッターにして提供しました。自分たちでむいた豆は特別でみんなで美味しく食べていました。今年も様々な食材に触れ、食に対する興味が深められるよう食育活動に取り組んでいきたいと思います。



「長命ヶ丘幼稚園」
（保育教諭 本田 仁美）

リス」。一人一人の台詞を大きな声で言う他に、ナレーターを演じたり、最後のエンドロールでは自分たちで役柄を発表し、堂々とお辞儀をする姿に拍手喝采でした。新型コロナウイルスの対策をしながら、子どもたちが練習に励んできた成果や頑張って表現しようとする姿を直接保護者の皆様にお見せすることができ、成長を喜び合える発表会になりました。

長命ヶ丘幼稚園



お店屋さんごっこ



一月二十七日と二十八日の二日間に分けてお店屋さんごっこをしました。一日目は二歳児から五歳児のクラスが何日も前から各クラスで作った商品を並べ、お客さんとお店屋さんに分かれて順番に買い物を楽しみました。綿あめやケーキ、ポテトチップス、おにぎりなど、本当に食べたくなるような食べ物や、ギターやカメラなど素敵なお品がたくさん並んでいました。「いらっしゃいませ」と大きな声でお客さんに声を掛けたり「これください」と緊張しながらも自分で色塗りをしたお金を渡したり、上手にやり取りができるようになりました。「もう全部売り切れたよ」「お客様いっぱい来たね」と自分が一生懸命作った商品が売れていく様子を喜ぶ姿が見られました。二日目は、0歳児と一歳児がお客さんとなり、五歳児がお店屋さんとお買い物のお手伝いをしてくれました。年長のお兄さんお姉さんが手を繋ぎ「どれにする?」と優しくお世話をしてくれたので、小さいクラスのお友だちもニコニコ笑顔で欲しい物を指差し、買い物をすることができました。子どもたちが手作りした品物の他にジュースとお菓子コーナー



もあり、そこで買った物はお昼寝後の味しく食べました。感染症予防の為、なかなかできませんでしたが、お店屋さんごっここの行事を通して、園全体での異年齢児交流を行うことができて良かったです。

(保育教諭 相野谷 菜美子)

卒園式



令和五年三月十八日に、長命ヶ丘つくしこども園第二回目の卒園式が行われました。子どもたちは正装に身を包み、いつもよりも少し大人びた姿で緊張の中にも自信や期待の表情が見られました。式が始まり、ピアノの音楽に合わせて入場する子どもたちは、緊張しながらも堂々と歩き、たくましさを感じることができました。卒園証書授与では、名前が呼ばれると元気良く「はい!」と返事をし、小学校で頑張りたいことを発表しました。たくさん練習を重ねてきたお別れの言葉は、十六名全員で取り組む最後の行事として心



を一つにして、園生活の思い出や未来への決意を言葉と歌で発表していきました。大きな声で自信を持って発表する姿に成長した嬉しさと、卒園してしまった寂しさを保護者の皆様と共に感じることができました。最後に、子どもたちから保護者の方へ感謝の手紙と花を「ありがとうございます」の言葉と共に渡し、保護者と手を繋いで退場し、感動のまま卒園式を終えることができました。卒園して大好きな子どもたちに会えない寂しさはありますが、これから的小学校での活躍がこども園まで届くことを楽しみにしていきたいと思います。

(保育教諭 早坂 紘理)

名取みた子どもの園

そりすべり



二月一日に年長児さんが泉ヶ岳スキーフィールドでそりすべりをしました。スキーフィールドではバスで向かいます。バスの中では「早くそりすべりしたいな」とワクワクしている年長児さん。スキーフィールドに着くと辺り一面に雪が積もっている様子を見て「雪が重くて登るの大変だね」「ふわふわしてるね」と雪の感触を楽しんでいました。ゲレンデに着き、そりの乗り方や並び方等の確認をし、いよいよそりすべりが始まります。ゲレンデの上部からそりで滑る

時、最初は勢いがあり、怖くて足でブレーキを掛けながら「速い」「怖い」と言いながら滑っていました。次第に慣れてきて「そりすべり楽しい」「もう一回滑る」と何度もそりすべりを楽しんでいました。その後雪合戦をした後に雪合戦をしたとき、雪だるまを職員と一緒に作ったりと思い思いに雪の感触を味わったり、各自で雪を使った遊びを展開したりして楽しんでいました。帰りのバスの中では「もう一回そりすべりしに来たいね」「楽しかった」と言いながらこども園に帰りました。これからも、季節ならではの遊びを取り入れて、様々な事象に触れられるようにしていきたいと思います。

(保育教諭 丹井 梨紗子)

一月三日の節分に、豆まき会が行われました。今回は、三歳未満児は牛乳パック、三歳以上児は風船で作った可愛いらしい鬼を用意し、楽しく豆まきができるようにしました。豆まき前には「鬼は外、福は内」の掛け声を確認したり、心の鬼をやっつける為に、豆まきを行うことを伝えたりしてから、行事を始めました。三歳未満児は、鬼が現れた驚きから泣いたり、保育教諭と一緒に豆に模したボールを投げたり、勇敢に立ち向かったりする等、様々な姿が見られました。子ども一人一人の姿に合わせて、不安な気持ちを受け止めながら、抱っこをしたり「頑張れ!」と応援したりすることで、豆まきを楽しんだり、不安な気持ちが続かないようになりました。三歳以上児は、怖がる子はおらず、風船の鬼に向かって、果敢にボールを当てる子がほとんどで、たくさん走って、投げて、当てる、楽しんで参加する姿が見られ、嬉しく感じました。伝統ある行事を、一人一人の子どもが楽しんで参加できるよう、今後も工夫していきたいです。

(保育教諭 村山 和佳奈)

豆まき会





四月三日、入園式と進級式を行いました。入園式は、お子さんも保護者の皆様も、初めての場所に緊張した表情を見せていました。しかし、お子さんの名前を一人ずつ呼ぶ場面では、大きいクラスのお友だちは緊張しながらも、元気に手を挙げることができました。小さなクラスのお友だちは保護者の方と一緒に手を挙げてくれて、その様子が可愛らしく、思わずほっこりとする立場でした。また「お楽しみ」コーナーでは、保育教諭が手遊び歌「どんな色が好き」の歌に乗せて、ペープサートを行いました。歌に合わせて体を動かしたり、夢中になって次々色が変わったペープサートを見つめたりと、緊張

がほぐれた楽しい時間となりました。



八園式・進級式



（保育教諭 菅原 茜丞）

一月十九日に五歳児らいおん組でカレー作りをしました。今回は包丁を使う食育活動で、期待を持って参加する姿が見られました。人参とじゃがいもを切ったり、ほうれん草と舞茸、白菜を手でちぎったりして旬の野菜が沢山のカレーになりました。包丁は猫の手で持つことや、包丁の危険について知らせることで、猫の手でしっかりと押さえながら、一人一人集中して取り組む姿が見られました。全クラスが食べる為、どんな風に切つたら良いか聞かれて、「小さく切った方が良いね」と小さく食べやすいように切ってくれました。野菜をちぎるコーナーでは「ほ

うれん草をちぎったら手が緑になつた」と食材に触れて新しい気付きに繋がりました。でき上がったカレーの蓋を開けると「美味しそう!!」と大喜びでした。自分たちで作ったカレーは格別に美味しかったようで、おかわりをして食べてってくれました。異年齢児たち

となりました。

式では、新しい保育教諭を発表されると「○○先生だ」と嬉しそうに声を上げる姿、笑顔で手を振る姿が見られました。また、入園式と同様に行つた「どんな色が好き」のペープサートでも、保育教諭と一緒に歌う姿、「赤」「青」と元気に色を答える姿があり、不安を吹き飛ばすような、笑顔溢れる進級式

がほぐれた楽しい時間となりました。

力しー作り



に満ち溢れる子どもたちでした。

（保育教諭 菅原 茜丞）

一月十九日に五歳児らいおん組でカレー作りをしました。今回は包丁を使う食育活動で、期待を持って参加する姿が見られました。人参とじゃがいもを切ったり、ほうれん草と舞茸、白菜を手でちぎったりして旬の野菜が沢山のカレーになりました。包丁は猫の手で持つことや、包丁の危険について知らせることで、猫の手でしっかりと押さえながら、一人一人集中して取り組む姿が見られました。全クラスが食べる為、どんな風に切つたら良いか聞かれて、「小さく切った方が良いね」と小さく食べやすいように切ってくれました。野菜をちぎるコーナーでは「ほ

うれん草をちぎいたら手が緑になつた」と食材に触れて新しい気付きに繋がりました。でき上がったカレーの蓋を開けると「美味しそう!!」と大喜びでした。自分たちで作ったカレーは格別に美味しかったようで、おかわりをして食べてってくれました。異年齢児たち



（保育教諭 阪山 美幸）

に満ち溢れる子どもたちでした。

（保育教諭 阪山 美幸）

お別れ遠足



三月二十二日にお別れ遠足があり、白石市にある「こじゅうろうキッズランド」に行ってきました。一度は延期になってしまったお別れ遠足だったこともあり「明日遠足だね」と、前日から楽しみにしている様子がありました。当日も笑顔で元気良く登園し、バスの中ではお弁当の話をしたり、シルエットクイズに挑戦したりと大盛り上がりでした。こじゅうろうキッズラン

ドに到着すると大喜びで、元気いっぱい挨拶をする姿がとてもかっこよかったです。まず初めに施設でのお約束を聞き、その後はわくわくパークでたくさん身体を動かして遊びました。大型滑り台やボルダリング、エアーゲン等、施設の中にはたくさんの遊具があり、これから遊びが悩む程でした。中でもサイバーhoiールという回転エアーゲンが人気で、友だちに転がしてもらったり友だちを転がしたりと、何度も楽しくしていました。たくさん遊んだ後はあきらちゃんと&あんこちゃんのスペシャルコンサートに参加しました。音楽に合わせて手遊びをしたり、みんなの好きなラーメン体操を踊つたりと参加型のコンサートに最後まで大盛り上

がりでした。お待ちかねのお弁当タイムでは、友だちや先生のお弁当を覗いて同じ食材を探したり、「ママが作ってくれたんだよ」と、お家の方に作ってもらつたことを話したりしながら、嬉しそうに食べていました。あつという間に帰る時間になり、施設の方に「ありがとうございます!」と笑顔で挨拶をしていました。また遊びに来りがとうございました。また遊びに来て友だちと話したり疲れて寝てしまつたりと、あけぼのこども園最後の楽しい思い出となりました。

(保育教諭 新関 春奈)



サッカー教室



五月十六日に待ちに待ったサッカー教室がありました。先日らいおん組のサッカー教室を見学していました。朝からワクワク・ドキドキの子どもたちでした。コーチに元気に挨拶をし、まずはボールに慣れることから始め、ボールの上に座つてみたり、手を使って足やお腹の周りにボールを当てたり、足を回す練習をしたりしました。今度は蹴つたボールを片足で止めたり、動かしてみたりしました。意外と簡単に見えてこれが難しく、真っすぐ蹴っているつもりが違う所に行つて「待って」とボールを追いかけて足を止めた、「待って」とボールを追いかけて足を止めた、「待って」とボールを追いかけて足を止めた。サッカー教室を通して、ボールを使った遊びの興味が広がったように感じました。日々の保育の中でも一緒にボール遊びを楽しみ、運動遊びのバリエーションを増やしていきたいと思います。

(保育教諭 吉尾 由佳)



ける姿がなんとも可愛いかったです。二つのことを一緒にするのはまだまだ難しい所もあり、コロコロ転がるボールに翻弄されながらも楽しくて仕方ない様子でした。その後は、五チームに分かれて試合をしました。みんな夢中になってボールを追いかけ、ドリブルでゴールし、シュートが決まる嬉しさに喜ぶ姿が見られました。色々なことを教えてもらつて、楽しい時間はあつという間に過ぎ、「サッカー楽しかった」と、大満足な子どもたちでした。サッカー教室を通して、ボールを使った遊びの興味が広がったように感じました。日々の保育の中でも一緒にボール遊びを楽しみ、運動遊びのバリエーションを増やしていきたいと思



(生活支援員 庄司 正広)

入居者の余暇の過ごし方に日中活動があります。食堂に集まりカラオケやゲーム大会、ビデオ鑑賞など、とても盛り上がる時間です。コロナ感染予防の為、なかなか開催することが難しいです。そんな中、楽しみの一つとして、おやつの時間があります。普段は居室で過ごしている入居者も、この時間は他の入居者と一緒にお菓子やお茶を囲みながら楽しい時間を過ごします。現在はおやつの時間だけですが、今後は他の日中活動も再開予定です。おすすめのゲームやカラオケがありましたら、ぜひお知らせ下さい。

日中活動



仙
萩
苑

新人紹介

生活支援員
ほんじょう りえ
本城 利恵



本城利恵と申します。仙萩苑では主人が、利用者としてお世話になっています。そんな縁もあり令和4年10月から勤務させて頂いております。障害者の施設で働くのは初めてなので、ご迷惑をかけることもあります、少しずつ仕事を覚えて頑張りたいと思います。夫婦共々よろしくお願いします。

理学療法士
わたなべ ひろや
渡部 寛也



昨年の9月から勤務させて頂いております。以前は整形外科と介護施設で理学療法士をしておりました。最初は、手探りの状態でしたが、先輩方にサポートして頂き早く仕事を覚えることができました。また、山村部長からは「スペシャリスト」と呼んで頂いていますが、まだまだ知識も浅く未熟な為、本当の「スペシャリスト」になれるよう努めていきたいです。

生活支援員
にった ひかる
新田 輝



2月6日からお世話になっています。新田輝です。特技としてムエタイ・キックボクシングを習っています。未経験ではありますが、精一杯頑張らせて頂きます。よろしくお願いします。

生活支援員
くどう かな
工藤 花奈



2月より勤務させて頂いております。工藤花奈と申します。まだまだ不慣れなことも多くご迷惑おかけしております。早く仕事に慣れ入居者の方々との信頼関係を築いていけたらと思います。寄り添える介護ができるよう精進して参りますのでどうぞよろしくお願いします。

決 算 報 告

令和4年度一寿会決算を下記の通り報告致します。

令 和 4 年 度 財 産 目 錄

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流動資産	343,676,988		流动負債	72,558,846	
基本財産	735,747,161		固定負債	126,826,481	
その他の固定資産	738,893,745				
資産の部合計-①	1,818,317,894		負債の部合計-②	199,385,327	
差引正味財産 (① - ②)			1,618,932,567		

令 和 4 年 度 貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流動資産	343,676,988	預金・未収金他	流动负債	72,558,846	未払金・預り金他
固定資産	1,474,640,906	建物・土地・権利他	固定负債	126,826,481	設備資金借入金他
			負債の部合計	199,385,327	
			純 財 産 の 部		
			基 本 金	121,529,321	
			国庫補助金等特別積立金	510,086,206	
			その他の積立金	488,000,000	
			次期繰越活動収支差額	499,317,040	
			純財産の部合計	1,618,932,567	
資産の部合計	1,818,317,894		負債・純財産合計	1,818,317,894	

令 和 4 年 度 収 支 計 算 書

(単位：円)

支 出 の 部			收 入 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
就労支援事業支出	4,753,001		就労支援事業収入	2,906,208	
人件費支出	641,828,335	給与・社会保険料他	保育事業収入	612,074,618	
事業費支出	153,795,646	給食費・消耗品費他	障害福祉サービス等事業収入	283,186,607	
事務費支出	133,821,932	業務委託費・修繕費他	医療事業収入	104,860,596	
借入金利息支出	956,015	設備資金借入分	経常経費寄附金収入	1,114,400	
元利償還金	14,958,000	設備資金借入金償還	受取利息配当金収入	389,412	
固定資産取得費	6,471,630	車輛他	その他の収入	856,361	雑収入等
ファイナンシャルリース債務の返済支出	6,427,086		積立資産取崩収入	5,185,999	退職共済預け金返還金
積立資産支出	59,246,487	各種積立金	その他の活動収入	55,747	
その他の活動支出	993,833				
支出の部小計	1,023,251,965				
当期繰越金	-12,622,017				
支出の部合計	1,010,629,948		収入の部合計	1,010,629,948	



編集後記

家庭菜園で父が野菜を育てています。今年はジャガイモ、キュウリ、トマト、ナス、シソ、スイカ等、庭には緑が茂っております。スイカに関しては孫が大好物で、去年上手くできたので、今年もリクエストされました。「じいじ、おいしい!」の言葉が聞きたくて、特にスイカの世話には余念がありません(笑) 夏に遊びに来る時まで甘く育ってほしいなと思います。私も枝豆をリクエストしたのですが、まだ植えてくれていないみたいΣ(ーローlll)ガーン



避難訓練



五月十八日、この日は前日から真夏日の予報が出ていました。暑さの中での訓練は熱中症の心配があった為、室内と玄関の軒下で行われました。まずは室内にて施設長から災害時の避難について説明がありました。一寿園がある富田は、ハザードマップ上水害区域にギリギリ入っている区域です。地震に対して強い地盤の扇状地ですが、名取川が近いので油断はできません。「もし津波や大雨等で水位が上がってきたら、どこへ避難しますか?」の質問に、

利用さんは「二階です」と返答。建物の二階以上へ上がる『垂直避難』は有効ですので、皆さんいざという時は「二階に逃げてくださいね」とお話をありました。その後、一階へ移動し、日陰のある軒下で消火体験をしました。今回は四名の利用者が体験。毎回指名される常連さんは、手順をマスターしているので、すっかり消火のプロです。これを使わないで済むに越したことはありませんが、大事なのは緊急時落ち着いて使えることだと思いました。

(職業指導員 渡辺 寿子)